

先月号では、都留市の姉妹都市であるアメリカのテネシー州、ヘンダーソンビル市に姉妹校を持つ桂高専から派遣された長期留学生二人のうち、柳 美早さんを紹介しましたが、今月は、もう一人の留学生、高部茂生くんを紹介します。

長期留学を終えて

桂高等学校 高部茂生

僕の旅は、成田を出たところから始まりました。一人で飛行機に乗るのも、海外に行くのも初めてだったので、最初はすごく緊張しました。三回の乗り継ぎを経て、ようやくテネシー州に着きました。ゲートでホストファミリーの人に暖かく迎えられました。アメリカの第一印象は、何もかもが大きいということです。人も、道も、家も、全てが大きく感じられました。

—— 日目からすぐハイスクールが始まりました。最初は英語が全く理解できませんでした。でもハイスクールの人達がゆっくり話してくれたり、いろいろとわかるように助けてくれたので、三日ぐらいで何となく理解できるようになってきました。そして少しずつ学校の行事にも目を向けることができるようになりました。

—— この夜に初めてハイスクールのアメフトを見に行きました。最初はルールがわからず、ただ座っているだけでした。で

も、ホストファミリーの人が教えてくれたのでとても楽しく観戦できました。それから毎週、金曜日の夜にアメフトの試合を見に行きました。

クラブについて少し書きま

す。アメリカはハイスクールの試合でも二、三ドルのチケットが必要でした。それでも多くの人達が見に来ていました。とても熱狂的な国民でした。チアリダーとバンドの応援も素晴らしいかったです。アメリカには三大スポーツがあり、秋にアメフト、冬にバスケット、そして春にベースボールを楽しみます。アメリカのクラブは全て季節部なので、一人で三つのクラブに入っている人もいました。ちなみに僕は水泳をやっていました。そこでは本当に有意義な時間を過ごせました。試合も何回もあり、僕も活躍することができました。みんないい友達でした。

授業については、ハイスクールは毎日八時に始まり、三時に終わります。一日の中で四つの授業があり、約六十種類の中から、自分の取りたいクラスを四つ選びます。そして一学期

間、同じその四つのクラスだけを受けます。土日は完全に休日でした。僕が取った四つのクラスは、キーボーディングと、数学と、フッドニュートリションと、アートⅡです。キーボーディングは英文をタイプすること、フッドニュートリションは料理教室のようなものでした。僕は全てのクラスが大好きでした。その中でもアートが一番好きでした。これは日本の芸術の授業とはかなり違ったものでした。ライトのショーアップや、いろいろな道具を使って描く方法などがあり、毎日がとても充実していて楽しかったです。友達もたくさんできました。約二〇〇人ぐらいの人と知り合いになることができました。その中には個性豊かな人や、ヨーロッパ、オセアニアからの留学生もいました。

僕が滞在している間に、ハロウィーンと、サンクスギビングと、クリスマスがありました。この三つの行事のときは、一つの家に親戚中の人が集まり、たくさんの人でパーティーを開き、賑わいます。その中でも一番大きな行事がクリスマスでした。準備が一月以上前から始まり、各家庭、いろいろな飾り付けをします。そしてクリスマスの当日には、たくさんプレゼントをもらいます。みんな少なくとも二十個くらいはもらいます。僕は運よく、誕生日がク



写真上：クリスマスと誕生日で喜びも2倍



写真左：親戚一同が集まっての記念写真



写真上：とても大きなクリスマス・ツリーとプレゼントの山

大まかですが、アメリカの留学生生活はこうだったものでした。最初全く話せなかった英語も、帰る頃にはすっかり慣れて、結構普通に話せるようになりました。アメリカで見た映画も、普通に理解できました。三カ月後ぐらいから英語で夢を見ることがたびたびありました。本当に新鮮で、素晴らしい経験がたくさんできました。